

今日の1冊

【内容】

「祭り」が行われなくなり、八百万の神々が怒り、暴れだして異変が頻発する。祭祀保安協会の九重十一とアシスタントの八多岬は、荒ぶる神々を鎮め、処分していき…。『小説宝石』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

春のたましい

神祕いの記

黒木 あるじ 著



【著者紹介】

黒木あるじ（くろき・あるじ）
青森県生まれ。東北芸術工科大学卒業。「震」でデビュー。
『幽』怪談実話コンテストブロンマわし賞を受賞。ほかの著書に
「山形怪談」など。